

来月の消費予報

4月の消費意欲指数は前年並み。 早くも、消費再増税を見据え「出費を控える」との声が出始める

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表いたします。

4月の消費意欲指数は46.8点となり、前月比は+1.0ポイントでほぼ横ばい。前年同期比も+0.9ポイントと同水準の消費意欲となっています。

4月の消費意欲指数



↑ 前月比 **1.0** ポイント

↑ 前年同月比 **0.9** ポイント

↑ : 前月比/前年同月比で上昇 ↓ : 前月比/前年同月比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。※詳細は4ページ

カテゴリー別 消費意欲



★ UP : 前月比で3ポイント以上の上昇 ● DOWN : 前月比で3ポイント以上の下降

「来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月と比較して作成。※詳細は4ページ

4月のポイント

Point 1 : 消費意欲指数は前年並みだが、新年度で消費に前向きになる声は増加

4月の消費意欲指数は46.8点で、前年同月と同水準です。消費意欲の理由(自由回答)をみると、「季節の変わり目で、新しいものがほくなる」「春物の洋服がほしい」など、新年度ならではの消費に前向きな声が増えています(15年4月133件→16年4月155件)。

Point 2 : 消費再増税(10%へ)の影響が、前回(8%へ)の増税時より早く出始める

新年度らしい理由で消費に前向きな声が増える一方で、「消費税が上がるから、出費を控える」など、消費再増税を見据えた声も早くも出始めています(16年3月1件→16年4月33件)。前回(8%へ)の増税時は、増税のおよそ半年前(2013年11月)から増税に関する声が始まりました。しかし、今回(10%へ)の再増税は、およそ1年前から増税を意識する声が始まり、前回より早く影響が出始めているのがわかります。

Point 3 : 「増税前に買いたい」ではなく「増税に備えて出費を控える」傾向に

消費再増税に関する声を、前回増税した時と比較すると、前は「増税前に買いたい」と消費につながる声も挙がっていました。しかし、今回はそうした声はほとんどみられず、現時点では「消費再増税に備えて、出費を控える」といったマイナスの声ばかりとなっています。

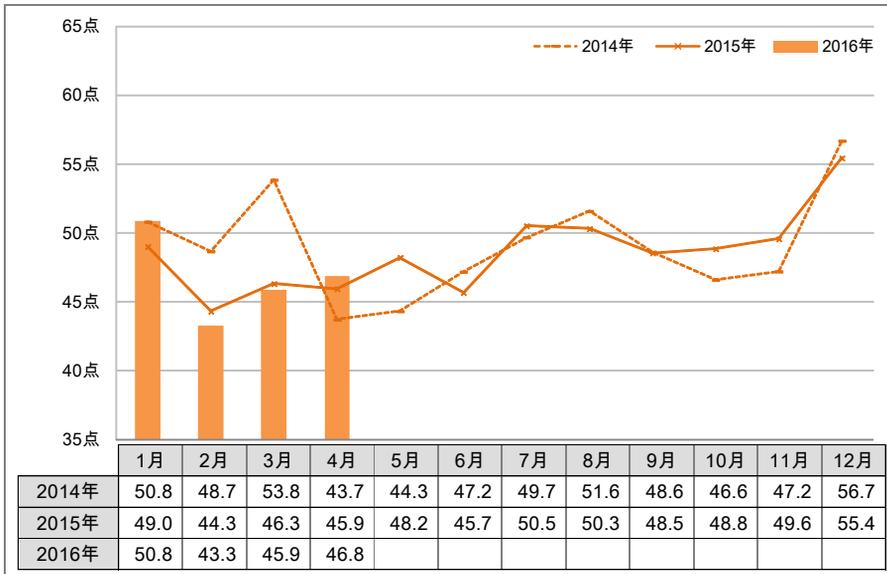
前回の増税で生じた生活者の節約志向が、まだ根強く残る状況で予定されている消費再増税。前回の増税時よりマイナス影響が大きくなる可能性も考えられるので、今後も消費意欲の動向に注目していく必要があります。

消費意欲指数

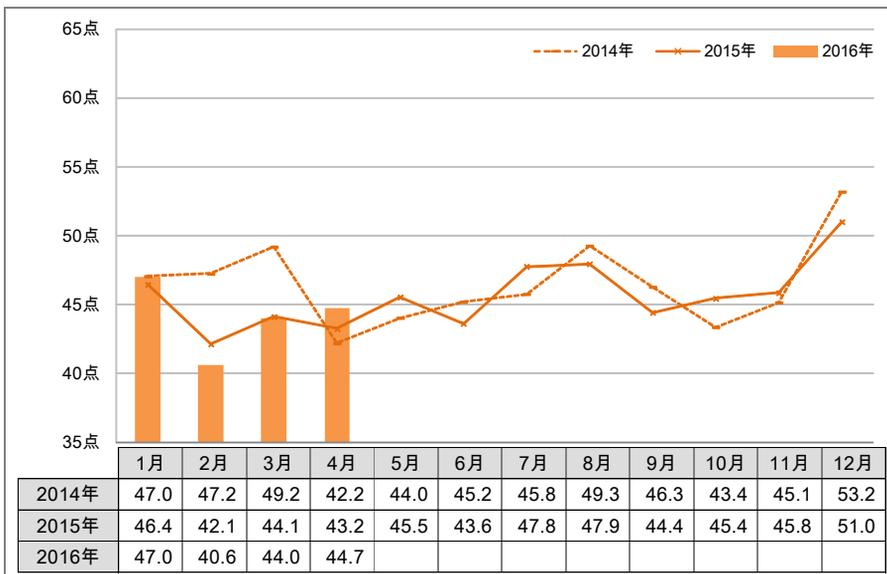
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

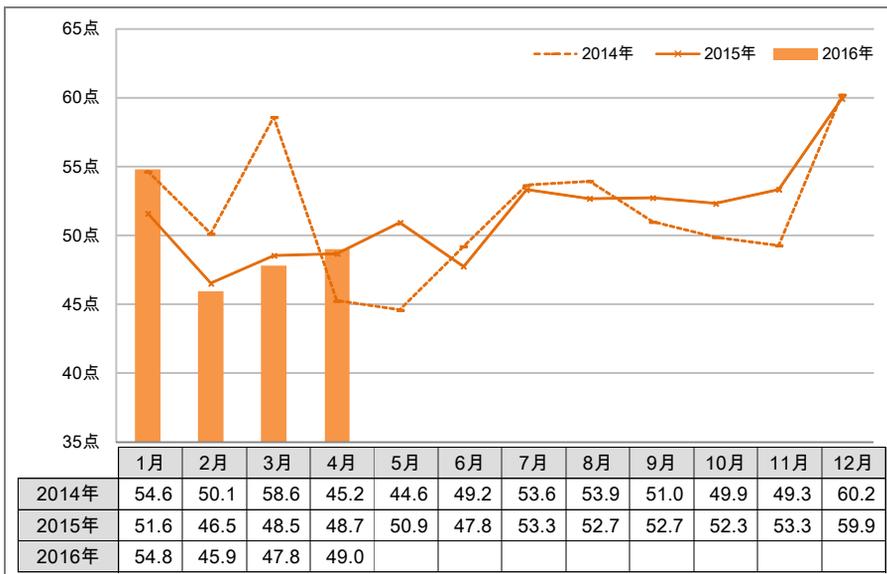
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

「新年度ならではの消費」に関する生活者の声

- ・季節の変わり目なので服を買いたい (50点・男性29歳・大阪府)
- ・春物の服とビジネス靴を買いたいから (70点・男性36歳・千葉県)
- ・暖かく、活動的になるから (100点・男性43歳・愛知県)
- ・春物の服で欲しいものがあるから (100点・男性51歳・大阪府)
- ・暖かくなり心も弾んで、消費意欲が若干増す (60点・男性67歳・愛知県)
- ・衣替えだつたり春の季節を楽しみたいから (80点・女性21歳・愛知県)
- ・新学期にそなえ、身の回り品を新調する予定 (80点・女性35歳・埼玉県)
- ・気温があがり、春物や夏物が欲しくなる時期だから (80点・女性40歳・東京都)
- ・春になるので、明るい色のものがほしくなる (80点・女性52歳・大阪府)
- ・季節が変わり、衣料品が欲しくなる (80点・女性61歳・大阪府)

「消費増税」に関する生活者の声

- ・消費税が増税されるから (1点・男性28歳・愛知県)
- ・消費税が上がるから (60点・男性33歳・神奈川県)
- ・消費税が上がる予定なので (50点・男性47歳・千葉県)
- ・消費税率増による負担感 (50点・男性53歳・愛知県)
- ・消費税が10%になるから (10点・男性68歳・大阪府)
- ・消費税が上がるので (20点・女性26歳・大阪府)
- ・10パーセントは大きい (50点・女性38歳・愛知県)
- ・増税のため買う気にならない (30点・女性41歳・奈良県)
- ・消費税が上がる (10点・女性56歳・神奈川県)
- ・消費税が上がるから (90点・女性63歳・岐阜県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2016年4月(%)	前月比(pt)	前年同月比(pt)
全体	23.1	-2.2	-3.8
男性	23.4	-0.5	-2.5
女性	22.8	-3.8	-5.1

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(347人)

順位	カテゴリー	4月(%)	前月比(pt)
1	ファッション	56.2	+4.7
2	旅行	41.8	+7.8
3	外食	41.5	+5.9
4	食品	34.6	-0.8
5	書籍・エンタメ	30.8	+2.8
6	レジャー	28.0	+3.5
7	家電・AV	25.1	-0.8
8	化粧品	24.8	+3.4
9	飲料	24.2	-0.9
10	理美容	23.6	+0.6
11	日用品	19.0	+1.3
12	インテリア用品	17.3	+3.8
13	装飾品	17.0	+1.2
14	パソコン・タブレット・周辺機器	16.4	-2.1
15	車・バイク	12.7	+5.3
16	スマートフォン・携帯電話	11.8	+2.6

【男性】(177人)

順位	カテゴリー	4月(%)	前月比(pt)
1	旅行	43.5	+9.8
2	ファッション	40.1	+3.1
2	外食	40.1	+9.2
4	食品	33.3	+1.3
5	書籍・エンタメ	32.2	+4.6
6	レジャー	28.8	+5.6
7	家電・AV	28.2	-7.2
8	パソコン・タブレット・周辺機器	22.6	-6.7
9	飲料	22.0	-1.2
10	車・バイク	18.6	+7.0
11	装飾品	15.3	+3.1
12	スマートフォン・携帯電話	13.6	-1.3
13	インテリア用品	11.3	-0.9
14	日用品	10.7	+0.2
14	理美容	10.7	+0.8
16	化粧品	7.3	+1.2

【女性】(170人)

順位	カテゴリー	4月(%)	前月比(pt)
1	ファッション	72.9	+8.3
2	化粧品	42.9	+7.5
2	外食	42.9	+3.0
4	旅行	40.0	+5.7
5	理美容	37.1	+2.3
6	食品	35.9	-2.5
7	書籍・エンタメ	29.4	+1.1
8	日用品	27.6	+3.4
9	レジャー	27.1	+1.3
10	飲料	26.5	-0.3
11	インテリア用品	23.5	+8.9
12	家電・AV	21.8	+4.6
13	装飾品	18.8	-0.4
14	パソコン・タブレット・周辺機器	10.0	+1.4
14	スマートフォン・携帯電話	10.0	+6.0
16	車・バイク	6.5	+3.0

■ :前月比で3ポイント以上の上昇

■ :前月比で3ポイント以上の下降

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(4月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(4月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	158	185	136	155	756
女性	116	154	179	134	161	744
合計	238	312	364	270	316	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2016年3月3日(木)～7日(月)(2012年4月から調査開始/毎月月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

2016年1月まで発行していた「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、「来月の消費予報」がその後を引き継いでいます。
「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、毎月初旬に当月の消費意欲指数を発表していましたが、「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(菅・川谷) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2016-04/>)からダウンロードしていただけます